



利光 真希美さん

和歌山県加太市淡嶋温泉  
大阪屋ひいな

京都の日昇別荘の田中美岐様からバトンを受け取りました。

当館は和歌山市の最西端、目の前に淡路島、遠くに四国を望む加太という漁師町にあり、お隣には人形供養やひな流しで全国的に有名な淡嶋神社がございます。古から続く参拜の方々と海からの恩恵を受けながら江戸末期創業の料理旅館を営んでまいりました。

「自営業やからいつでも好きな時に休める

り合います。まったくない未踏の地、和歌山。凄まじい心細さの中、旅館という特殊な環境に飛び込み、3人の子を育てながら休みも取らず必死で働いてまいりました。

40をもちてJKK  
全旅連・女性経営者の会  
Vol.103  
リレーコラム

で、毎年海外にも旅行できる！」と甘い言葉につられて滋賀県から嫁ぎ早や21年。結婚してしまつたら、海外旅行？ 何のことや？ という感じで、甘い言葉には必ず裏がある！ 人生の厳しさをパートナーから教えられたのであります。

親せきもなければ知

るような頻度、忙しくないのに賄い作りのためだけに宿に出勤しなければいけない毎日

…と、言うところとシヤカリキに働いてきたようですが、新しい我が家の印象は民宿に毛の生えたような時代から取り残されたザ・昭和の旅館。予約帳は圧倒的に白い部分が多く、電話も学校のチャイムが鳴

の人々に支えていただきながら、宿も子どもたちも順調に成長いたしました。昨今は珍しい種がようやく花を咲かせ、また新しい種を生む時期に移ろうとしている感覚で、白髪も増えて手もしわしわになつてきたけれど一番の幸せを噛みしめております。

まさしく戦争のようで、お客さまには叱られてばかり、毎夜枕を濡らす暗黒の日々でした。あ、スミマセン愚痴りました(笑)。

最後にご加太の魅力を少しばかり。全国各地でまちづくりが盛んですが、加太も様々な取り組みを頑張っております！

JKKの皆様は本当にパワフルで太陽のようには明るく人間力の塊のような方ばかり。湿っぽい性格の私は同じ場所に置いていただくだけで勇氣と元気をいただけます。これまで「井の中の蛙大海を知らず」で生きてしまいま

上らなかつた無人島が、わざわざ不自由さを楽しみにやってくる人たちがあふれている様子はとても面白い。頑張つてこなければこんな面白さに出会えなかつたもんなあ。

味わえる「友ヶ島」のブームで急激に観光客が増えました。いたるところにコンビニがあり何不自由のない世の中ですが、加太にはコンビニもなく、もちろん友ヶ島にもあるのは昔から変わらぬ自然だけ。これまで話題にも

だから宿もきつと面白無限。変わつていくもの、変わらず守り続けるもの、日本人としての和の旅館が担う役割を考えつつ、とにかくいつもどんな時代もここに咲き続ける花であるよう頑張つていかななくてはと思ひます。そして今度こそ暖かいところで一年の半分を暮らす生活がしたいなあ(笑)。

# 蒔いた種が花咲かず宿の面白さ実感

今回は兵庫の西明石ホテル、山田こずえ様です。